

令和6年1月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和6年1月26日(金)
午前9時30分より
場 所 町民センター 2Aクラブ室

- 1 開会宣言
- 2 署名委員の指名
- 3 教育長事務報告
- 4 付議事項
 - (1) 議案第19号 二宮町立小中学校特別教室等空調機設置工事請負契約の変更について
 - (2) 議案第20号 令和5年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について
- 5 報告・協議事項
 - (1) 令和6年度教育委員会基本方針について 資料 No. 1
 - (2) その他

* 次回教育委員会議予定

- 6 閉会宣言

令和6年1月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R5.12.22~R6.1.25)

月	日	曜日	内 容
12	22	金	定例教育委員会議
12	26	火	社会教育施設訪問
12	28	木	納政式
1	4	木	始政式
1	5	金	新春のつどい(自治功労者表彰式・教育委員会表彰式)、 ニューイヤークンサート
1	7	日	新春ロードレース大会
			二宮剣道大会
			消防出初式
1	8	月	令和6年20歳のつどい
1	9	火	JA湘南賀詞交歓会
1	10	水	政策会議
1	12	金	施設一体型小中一貫教育校設置研究会
1	14	日	スポーツ推進員西湘ブロック会議
1	17	水	教育支援委員会
1	18	木	寄付採納(小学校新入生用防犯ブザー)
			文化庁による子ども育成推進事業(一色小ほか)
			中地区教職員組合新春のつどい
1	19	金	令和6年度予算内示
1	20	土	防災講演会
1	22	月	人権研修会
1	23	火	政策会議
1	25	木	神奈川県町村教育長会議

令和6年1月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R5.12.22~R6.1.25)

月	日	曜日	内 容
12	22	金	定例教育委員会議
12	26	火	社会教育施設訪問
12	28	木	納政式
1	4	木	始政式
1	5	金	新春のつどい(自治功労者表彰式・教育委員会表彰式)、 ニューイヤークンサート
1	7	日	新春ロードレース大会
			二宮剣道大会
			消防出初式
1	8	月	令和6年20歳のつどい
1	9	火	JA湘南賀詞交歓会
1	10	水	政策会議
1	12	金	施設一体型小中一貫教育校設置研究会
1	14	日	スポーツ推進員西湘ブロック会議
1	17	水	教育支援委員会
1	18	木	寄付採納(小学校新入生用防犯ブザー)
			中地区教職員組合新春のつどい
1	19	金	令和6年度予算内示
1	20	土	防災講演会
1	22	月	人権研修会
1	23	火	政策会議
1	25	木	神奈川県町村教育長会議

令和6年1月政策会議結果報告

令和6年1月10日（水）開催分

【町長あいさつ】

現在、令和6年度予算の調整を行っているが必要に応じて対応をされた
い。

【主な付議案件】

- 1 議会定例会（9月）の一般質問・総括質疑のとりまとめについて
（政策部）
 - ・9月に行われた議会定例会の一般質問・総括質疑における案件や要望
に対して、町としての対応を協議し決定した。
- 2 令和4年度決算審査特別委員会の要望等に関する対応について
（政策部）
 - ・令和4年度決算審査特別委員会における要望等に対して、町としての
対応を協議し決定した。

【情報交換】

- 常任委員会の閉会中の継続調査に基づく提言書について（健康福祉部）
（教育福祉常任委員会 「子どもの権利について」）

令和6年1月23日（火）開催分

【町長あいさつ】

令和6年度予算が固まりつつある。施政方針をまとめていく中で、意見
交換を行いながら作り上げていく。

【主な付議案件】

- 1 「(仮)二宮町携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例」の骨子
(案)について（政策部）
 - ・令和5年9月に町議会より「携帯基地局の設置・変更手続き条例制定
に係る要望」を受理したことを受け、条例骨子(案)をもとに、今後の条
例制定に向けて検討する。

【情報交換】

- コロナウイルスワクチン接種は、3月末で終了（健康福祉部）

教育総務課事業報告

事業報告

(令和5年12月22日～令和6年1月25日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
12月22日	金	にのみや学園小中学校終業式	-	-
1月9日	火	にのみや学園小中学校始業式	-	-
1月11日	木	特別支援教育担当者会	二宮中学校	25
1月12日	金	施設一体型小中一貫教育校設置研究会	二宮町役場	30
1月16日	火	にのみや学園カリキュラムワーキンググループミーティング	各校またはオンライン等	-
1月16日	火	にのみや学園カリキュラムワーキンググループ研究授業(道徳)	山西小学校	7
1月16日	火	学校事務連携会議	町民センター	7
1月17日	水	教育支援委員会	町民センター	23
1月22日	月	人権教育担当者会 (生涯学習課主催事業と兼ねる)	町民センター	7

事業予定

(令和6年1月26日～令和6年2月8日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
1月26日	金	総合教育会議	町民センター	13
1月30日	火	いじめ問題対策連絡協議会	二宮町役場	15
1月31日	水	二宮町立学校教職員安全衛生推進連絡会	二宮町役場	12
1月31日	水	小・中学校長会	町民センター	14
2月1日	木	にのみや学園小中一貫教育カリキュラムワーキンググループ代表者会	オンライン	17
2月2日	金	児童生徒安全対策協議会	町民センター	24
2月2日	金	小中一貫教育に関する視察対応(兵庫県川西市)	二宮町役場	-
2月6日	火	社会科副読本担当者会	教育支援室	5
2月7日	水	幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会	町民センター	8
2月7日	水	幼稚園・保育園・小学校事務連絡会	町民センター	30
2月8日	木	児童・生徒指導担当者 教育相談コーディネーター担当者会	オンライン等	25

学校給食センター

事業報告

(令和5年12月22日～令和6年1月25日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
1月10日	水	3学期給食開始	小・中学校	—
1月24日	水	納入物資業務監査	町民センター	5

事業予定

(令和6年1月26日～令和6年2月8日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
2月1日	木	令和5年度第2回学校給食センター運営委員会	町民センター	16

生涯学習課事業報告

(令和5年12月22日～令和6年1月25日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者/人数	担当班
1/5	金	20歳のつどい実行委員会	ミーティングルーム2	38人	23人	学習
1/8	月	20歳のつどい	ラディアン	245人	173人	学習
1/15	月	一色小学校放課後子ども教室	一色小学校	—	51人	学習
1/17	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10組	10組	図書館
1/17	水	湯河原町立図書館のあり方検討委員会 視察	図書館	—	6名	図書館
1/19	金	わらべうたであそぼう！	和室	各10組	10組	図書館
1/19	金	山西小学校放課後子ども教室	山西小学校	—	133人	学習
1/19	金	スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム1	19人	10人	スポーツ
1/20	土	おはなし会	図書館	10組	10組	図書館
1/22	月	人権教育研修会 「インターネットと人権」	町民センター 2Aクラブ室	25人	25人	学習

生涯学習課事業予定

(令和6年1月26日～令和6年2月9日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
1/26	金	山西小学校放課後子ども教室	山西小学校	放課後	学習
2/1	木	第5回社会教育委員会議	ミーティングルーム1	13:30	学習
2/1	木	第78回市町村対抗かながわ駅伝結団式 ※大会は2月11日(日)開催	ミーティングルーム2	19:00	スポーツ
2/4	日	ユニカール体験会 (スポーツ推進委員主催)	ラディアン 展示ギャラリー	14:00	スポーツ
2/7	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
2/7	水	ブックスタート	保健センター	13:30	図書館
2/8	木	ユニカール体験会 (スポーツ推進委員主催)	ラディアン 展示ギャラリー	13:30	スポーツ
2/8	木	第2回文化財保護委員会議	ミーティングルーム1	13:30	学習
2/8	木	青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	19:30	学習
2/9	金	山西小学校放課後子ども教室	山西小学校	放課後	学習

令和5年度教育委員会基本方針の中間評価に係る意見について

全体

- 計画と中間値の開きがとても大きい（「話し合う活動、、、」小学校 80.5%→87.0%、中学校 87.1%→75.3%、「英検」42.6%→17.2%など）5カ年で上げる計画だと思うので少しずつ上げていくつもりで設定しているものは良いが、予想以上に数字が低い場合には5カ年の初年度ではあるが計画値を見直すことも視野に入れるべきでは。少なくとも「予想以上に数字が低い」理由について記載あるいは議論は必要。

→【別添のとおり】

その他、例えば、ホームページのアクセス回数については、令和3年度を基準に「23,000回」となっている。これは、コロナ禍によるアクセス回数で、指摘の令和4年度、5年度については10,000回前後で推移しているため、数値を下げることも検討する必要がある。

あるいは、アクセス回数はKPIとして数値評価をする必要がなければアクセス回数は、削除してもいいのではないかと考える。

1-①

- PISA2022からもICT機器の活用はまず頻度。そこは高くて素晴らしいが、まだ教師や教科によるばらつきがあると思う。積極的活用から効果的活用へと書いてあるが、積極的活用を促す活動はまだ続けるべき。特に教師への使い方講習や事例共有は5校でやるべき（やっている事例があったら知りたいです）
- ICT支援はどれだけ使えるかも大丈夫（効果的活用）（PISAだと「ウェブ、ブログ、プログラムが作れるか」を聞いていて、正直ここまで中学校でやるのはハードルが高いとは思う）。ICT支援員の活用と効果的活用を広げることが結びつかないので次回事例と考え方を教えてほしい。
- 「ICT活用については（中略）各校、各学年で大きな差が出ないようにしていく」という記載は、言いたいことはなんとなくわかるが、「足並みを合わせて少しずつ上げていく」というイメージを抱かせ、飛び抜けることが忌避されるようにも読める。「各校、各学年で活用が大きく進まない事象がないようにサポートしていく」と言うような記載の方が良いのではないか。できれば「〇〇によりサポートしていく」と言う方法も記載があると良い。

→【別添のとおり】

1-②

- 「楽しい」という回答を上げたい。が、何をすると上がるのかの実感はある

のか？あるのであればより具体的に記載したい。わからなければ、別途確認をする必要がある。

- コミュニティースクール運営について、KPI が一つでは正しく計測できていると言えない。追加を考えたい。

→【別添のとおり】

1-③

- LINE での発信を検討していることを、今後の課題の欄に追記しても良いのではないか

→中間評価には「今後の課題」について記載すること欄があるが、令和6年度基本方針には今後の課題欄はない。令和6年度基本方針の情報発信の強化の頭書きのところに以下のように入れてはどうかと考える。

令和5年度 基本方針抜粋

(1) 情報発信の強化

地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。

また、令和6年度中に町の公式 LINE が導入される予定なので、LINE を活用した情報発信についても検討を進めます。

2-①

- 小学校低学年の不登校率低減に注力したい。その点への対策を今後の課題に記載したい。ここも理由を知ることが大事。「増えている理由は〇〇なので、このような対策をする」という形で記載したい。

→【別添のとおり】

- 教師の時間外の時間は中間値が良いので追記したい。

→

		基準値	R5
計画	小学校	36.3 時間	36.3 時間
	中学校	58.4 時間	58.4 時間
中間	小学校	35.8 時間	33.9 時間
	中学校	75.5 時間	62.6 時間

※中間：基準値=R4.4~12月

2-②

- KPI に追加する必要はないが、二宮産の野菜など使った給食を実施していることに対する数値的な評価はした方が良いのではないかと議論が必要。給食委員会で議論で良い気がする) その数値を今後の課題などに記載して、どう上げるかの対策を書きたい。

→令和5年度から、地場産デーとしては、学期に1回を目途に実施しており、その他たまねぎ、さつまいも、菜の花なども数回提供している。

使用回数については、毎年同じ数字が想定されるため、数値評価については、検討する必要がある。

3-①

- 放課後子ども教室の実施頻度などがなくなった KPI の補完として有効ではないか。何かしら KPI は追加が必要。

→地域学校協働活動による効果を確認する指標として、K P I に、放課後子ども教室の登録率（放課後子ども教室登録者数合計÷町立小学校児童数合計）を加える。

追加 KPI

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	放課後子ども教室の登録率（登録者数合計/児童数合計）		
		基準値	R5	達成状況
	計画	36.4%	36.4%	
中間	36.4%	41.9%		

3-③

- KPI は投稿数で良いが、リアクション（いいねの数、など）も見ないと「届いたかどうか」がわからない。

→本指標の KPI(14 件)は、地元情報誌に掲載された数を掲げています。Facebook の投稿数については、積極的な情報発信の一つの例として記載させていただきましたが、今後も広報紙やホームページ、SNS などを使用して積極的な情報発信に努めます。

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	1-① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進		評価者	教育総務課			
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。						
主な関連事業		予算等事業名	<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明		
	1	言語活動の充実【重点事業】	-				
	2	英語教育推進事業【重点事業】	適当				
	3	ICT教育推進事業	適当				
	4	道徳教育・特別活動の充実	-				
	5	情報教育	-				
	6	読書指導	-				
	7	学校体育の充実	-				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	80.5%	80.5%			
		中学校	87.1%	87.1%			
	中間	小学校		87.0%			
中学校			75.3%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	65.6%	65.6%			
		中学校	83.5%	83.5%			
	中間	小学校		72.2%			
中学校			78.0%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	週3回以上、授業でICT機器を使用する割合					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	63.1%	63.1%			
		中学校	85.1%	85.1%			
	中間	小学校		78.4%			
中学校			95.0%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	92.3%	92.3%			
		中学校	96.9%	96.9%			
	中間	小学校		97.2%			
中学校			95.5%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	中学3年生の英検3級取得率					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	中学校	42.6%	42.6%			
	中間	中学校		17.2%			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<p>・話し合い活動が資質・能力の高まりにつながっていると子ども自身が感じていることはよい傾向である。話し合う目的を教員と子どもがともに理解し、9年間を貫く学習活動として継続していきたい。</p> <p>・どの学校もICTの使用頻度は高まってきている。積極的活用から効果的活用のフェーズに移ってきている中、効果的に活用するためにICT支援員との連携を深めていくとともに、5校で活用方法を共有していく必要がある。</p> <p>・英語教育研修会を通して、小中学校の先生が交流し、互いにどのような授業を展開しているのかを把握することができた。また小中でどのように英語教育に取り組んでいくかを話し合うこともできた。</p>
	今後の 課題	<p>・ICT活用については5校で取組状況を共有し、各校、各学年で大きな差が出ないようにしていく。</p> <p>・英検3級目標取得率が未達のため、今後も継続して授業改善と英語検定奨励金制度を活用した受験を促す必要がある。</p>
	改善点 及び今後 の方向性	
	総合評価	

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	1-② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進		評価者	教育総務課			
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による9年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。						
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明	
	1	小中一貫教育カリキュラム研究の推進	-				
	2	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	-				
	3	施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究	-				
	4	郷土理解の促進による郷土愛の育成	-				
	5	小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	-				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	53.8%	53.8%			
		中学校	60.3%	60.3%			
	中間	小学校		62.5%			
中学校			60.7%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	62.1%	62.1%			
		中学校	58.3%	58.3%			
	中間	小学校		59.6%			
中学校			49.4%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	77.4%	77.4%			
		中学校	84.0%	84.0%			
	中間	小学校		81.9%			
中学校			74.2%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	49.2%	49.2%			
		中学校	46.4%	46.4%			
	中間	小学校		74.5%			
中学校			62.4%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 小中一貫教育の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	37.6%	37.6%				
	中間		-				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・にのみや学園が開校し、にのみや学園プロジェクトを着実に進めることができています。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など地域をテーマにした学習に一貫して取り組んでいることが高数値に影響していると考えられる。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組の周知に努めている。
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き魅力ある学校づくりに取り組むとともに、魅力ある学校の具体を子どもや教職員等と共有することも重要である。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に引き続き取り組んでいく。 ・カリキュラム研究の成果が多くの教員や子どもに還元できる仕組みづくりを工夫する。 ・小中一貫教育の認知度を高めるため、facebook等プッシュ型発信にも取り組む。
	改善点 及び今後 の方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	1-② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進		評価者	教育総務課		
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援	-			
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進	-			
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進	-			
	4		-			
	5		-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%		令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、本項目を廃止する。
		中学校	21.1%	21.1%		
	中間	小学校		-		
中学校			-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	21.4%	21.4%			
	中間		22.9%			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことに各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。 ・夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく3校合同で開催を行うことが出来、にのみや学園として小学生同士の交流を行うことができた。 ・令和5年度より各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議毎に活動内容や課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差があるため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知
	改善点 及び今後の 方向性	
	総合評価	

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	1-③ 学校教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化		評価者	教育総務課		
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明
	1	学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	-			
	2		-			
	3		-			
	4		-			
	5		-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校ホームページアクセス回数（5校合計の月平均）				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	23,000回	23,000回			
	中間		10,000回			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようとする保護者の肯定的な割合（5校平均値）				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	88.7%	88.7%			
	中間		-			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	令和2年4月より学校ホームページを開設し、令和3年度は平均23,000回のアクセス数があったが、令和4年度は約11,000回、令和5年度は約10,000回と一定のアクセス数はあるものの、アクセス回数は下降してきている現状である。
	今後の 課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるような工夫をしながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。
	改善点 及び今後 の方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実		評価者	教育総務課			
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。						
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明		
	1	教育相談体制（就学相談含む）の充実	-				
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実	-				
	3	幼保小連携推進事業	-				
	4	支援教育補助員の配置	-				
	5	医療的ケア受入実施体制の確立	-				
	6	中学校の制服の在り方の検討	-				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 誰にも相談していない児童生徒数						
			基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	0人	0人			
		中学校	7人	7人			
	中間	小学校		4人			
中学校			1人				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	60.0%	60.0%			
		中学校	65.5%	65.5%			
	中間	小学校		64.2%			
中学校			61.8%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 新規不登校者数						
			基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	5人	5人			
		中学校	15人	15人			
	中間	小学校		4人			
中学校			4人				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 不登校率						
			基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小 低	0.9%	0.9%			
		小 高	2.1%	2.1%			
		中学校	6.2%	6.2%			
	中間	小 低		2.0%			
		小 高		1.7%			
中学校			4.5%				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SCの常駐化など教育相談体制を拡充したり、県の取組と連携したスクリーニングを実施したりすることでこれまで以上にきめ細かく対応することができるようになり、不登校等の未然防止、早期発見、早期対応に役立っている。 ・各校が不登校児童生徒等の居場所づくりに取り組んでいる。特に一色小学校は、ほっとルームに支援教育補助員を配置し、常時開室することで効果をあげている。 ・特別支援学級在籍児童生徒のやまびこ受入について5校で改めて共通確認を図ることができた。 ・インクルーシブ教育を推進するために、発達障害、情緒障害の通級指導教室（巡回型）の新規開設に向けて準備を進めている。 ・医療的ケア実施に関するガイドラインに基づき、適切な医療的ケアを実施することができている。また、医療的ケア児の受入を計画的に行うために、福祉部局や関係機関との連絡協議会に参画した。 ・幼保小連携の観点からスタートカリキュラムを意識した教育過程を編成している。
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニングなど児童生徒及び教職員を対象とするアンケートが年々増加し、負担増につながっている。アンケートの実施内容、時期等を改めて整理する必要がある。 ・不登校はそれでもなお年々増加傾向にあり、各校の実情に合った環境整備が必要である。 ・発達障害、情緒障害の通級指導教室（巡回型）が新規開設されるまでの準備を遺漏なく行うことや新規開設された後の適切な運用。
	改善点 及び今後 の方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進		評価者	教育総務課		
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明
	1	働く場としての環境整備	-			
	2	部活動の地域移行に向けた検証	-			
	3	学校の運営に係る地域人材の活用	-			
	4		-			
	5		-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	教職員の時間外勤務の月の平均時間				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間		
		中学校	58.4時間	58.4時間		
	中間	小学校		-		
中学校			-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	教職員に占める高ストレス者の割合				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	13.2%	13.2%			
	中間		10.3%			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを適正に配置し、早期対応を行うことができる環境整備を図った。（R5 SCを小学校に週1日常駐） ・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を配置した。（R5 3名増員） ・校務支援システム、勤怠管理システム等のICTを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。 ・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。 ・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。（R5 各中学校 2部活で検証）
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保 等） ・保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがしづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、見直せる環境を整える必要がある。
	改善点 及び今後の 方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上		評価者	教育総務課			
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。						
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明	
	1	「教職員授業力向上研究事業」の推進	-				
	2	教育研究所における研修の充実	-				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	80.5%	80.5%			
		中学校	87.1%	87.1%			
	中間	小学校		87.0%			
中学校			75.3%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	53.8%	53.8%			
		中学校	60.3%	60.3%			
	中間	小学校		62.5%			
中学校			60.7%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	62.1%	62.1%			
		中学校	58.3%	58.3%			
	中間	小学校		59.6%			
中学校			49.4%				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	86.7%	86.7%			
		中学校	92.7%	92.7%			
	中間	小学校		91.5%			
中学校			91.0%				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など教育情勢に応じた研修を実施。 ・にのみや学園プロジェクトとして、学び方の研究（学校研究）、教科研究（カリキュラム研究）の双方をバランスよく実施し、指導力の向上に努めている。 ・先生が受容的かつ共感的な態度で子どもたちにかかわることができていることはよい。専門職を含むチーム支援を推進することで、先生個々の対応がきめ細かくなっていると考えられる。
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTに関する研修は、全体研修だけでなく、ICT支援員を活用した職場内研修等を充実させることで、これまで以上に授業改善に活かせる内容にしていく。 ・引き続き、学び方の研究や教科研究を通じて、知的で楽しい授業づくりに取り組んでいく。
	改善点 及び今後の 方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備		評価者	教育総務課		
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修	-			
	2		-			
	3		-			
	4		-			
	5		-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和2年度）におけるDランク判定及び緊急対応箇所の改修割合				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	40.0%	40.0%			
中間		66.7%				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	Dランク判定21か所のうち14か所について、工事又は修繕が完了した。 また、教育環境の向上を図るため、令和5年度より、特別教室等空調機設置工事に着手し、令和6年度の夏季期間から空調機が稼働できるように工事を進めている。
	今後の 課題	令和6年度以降についても、引き続きDランク判定の箇所を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。
	改善点 及び今後 の方向性	
	総合評価	

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	2-② 安全・安心な学校づくりの推進
-------	--------------------

施策評価

施策	(1)健康・安全教育の充実		評価者	教育総務課			
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実を図ります。						
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明	
	1	安全対策、安全教育	-				
	2	幼保小中一斉引取り訓練	-				
	3	学校給食センターにおける取り組み	-				
	4		-				
	5		-				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所+合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	33箇所	33箇所				
中間		31箇所					
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	94.3%	94.3%			
		中学校	91.2%	91.2%			
	中間	小学校		93.7%			
中学校			92.7%				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。 ・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施 ・学校給食において、地場産デーとして6月には二宮産のたまねぎを提供し、7月には無農薬野菜のなす、ズッキーニ、ピーマンを使用した「夏野菜カレー」を提供した。また、10月には二宮町で取れたサバを「サバの竜田揚げ」にして提供した。 ・地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月には二宮小学校、10月には山西小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をつつりと伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。
	今後の 課題	・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有
	改善点 及び今後 の方向性	
	総合評価	

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進	評価者	教育総務課
施策内容	家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。 また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。 これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題についても研修会等を開催し、人権意識を育みます。		

主な関連事業	予算等事業名	<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明
	1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進	-	
2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援	-		
3	青少年の健全育成	-		
4	人権教育の推進	-		
5		-		

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%		令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、本項目を廃止する。
		中学校	21.1%	21.1%		
中間	小学校		-			
	中学校		-			

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	21.4%	21.4%			
	中間		22.9%			

重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	町民大学参加状況（参加者数／定員数）				
		基準値	R5			町民の生涯学習活動状況を評価する指標として、本項目を加える。
	計画	100.0%	100.0%			
	中間		-			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	中間成果	・放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めた。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員合同による事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みも実施した。 ・町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、継続学習につながる講座や、多世代の交流の場となるような講座を開催し、生涯学習の推進に務めた。
	今後の課題	地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携、情報提供を継続して行う必要がある。
	改善点及び今後の方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(2)図書館事業の推進		評価者	教育総務課			
施策内容	赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。						
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明	
	1	幅広い世代の利用促進	-				
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	-				
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	-				
	4		-				
	5		-				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	図書館年間入館者数					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	174,944人	174,944人				
中間		78,577人					
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）					
		基準値	R5	R6	R7	達成状況	
	計画	小学校	70.2%	70.2%			
		中学校	63.9%	63.9%			
	中間	小学校		72.8%			
中学校			65.7%				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努めた。 (図書館入館数：10月末日時点)
	今後の 課題	幅広い年齢層の図書館利用促進に継続して取り組む必要がある。
	改善点 及び今後 の方向性	
	総合評価	

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供		評価者	教育総務課		
施策内容	各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援するとともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。 また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明
	1	文化芸術及びスポーツの振興・支援	-			
	2	歴史や文化の保護と普及啓発	-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	文化祭来場者数				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	4,273人	4,273人			
	中間					
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	80組	80組			
	中間					
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	405人	405人			
	中間					
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	小学校	52.4%	52.4%		
		中学校	34.0%	34.0%		
	中間	小学校				
中学校						
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール、温水プール）の個人入場者数および利用登録団体数				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	210,757人 4,894団体	210,757人 4,894団体			
	中間					

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	・文化祭の開催、スポーツフェスティバルへの協力などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努めた。 ・民俗芸能のつどいの開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組んだ。 （体育施設の個人入場者数および利用登録団体数：10月末日時点）
	今後の 課題	歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
	改善点 及び今後の 方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	3-② 社会教育施設の管理運営
-------	-----------------

施策評価

施策	(1)各施設の適切な維持管理と運営			評価者	教育総務課	
施策内容	<p>長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センターラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。</p> <p>また、生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。</p>					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	安全安心な環境整備と適切な施設運営	-			
	2	生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向けた検討	-			
	3		-			
	4		-			
	5		-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度D判定評価の対応状況（対応済み数／D判定評価数）」				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	0 / 4	0 / 4			
中間		0 / 4				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	<p>・不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだ。</p> <p>・D判定4か所のうち、1か所（屋根・屋上）が該当する生涯学習センターラディアンは、リニューアル工事に向け、施設再編課とともに基本設計を進めている。</p> <p>・D判定4か所のうち、3か所（内部仕上げ、電気設備、機械設備）が該当する町民温水プールは、令和5年度末をもって廃止が決定した。</p>
	今後の 課題	<p>・安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。</p>
	改善点 及び今後 の方向性	
総合評価		

施策評価シート（令和5年4月～現在まで 中間実績）

基本方向性	3-③ 社会教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化		評価者	教育総務課		
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。					
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用	-			
	2		-			
	3		-			
	4		-			
	5		-			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数				
		基準値	R5	R6	R7	達成状況
	計画	14件	14件			
中間		7件				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	中間 成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、地元情報誌に7回掲載された。また、10月までに町Facebookに16件投稿した。
	今後の 課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要がある。
	改善点 及び今後 の方向性	
	総合評価	

1-① あらゆる学びの基礎となる資質・能力

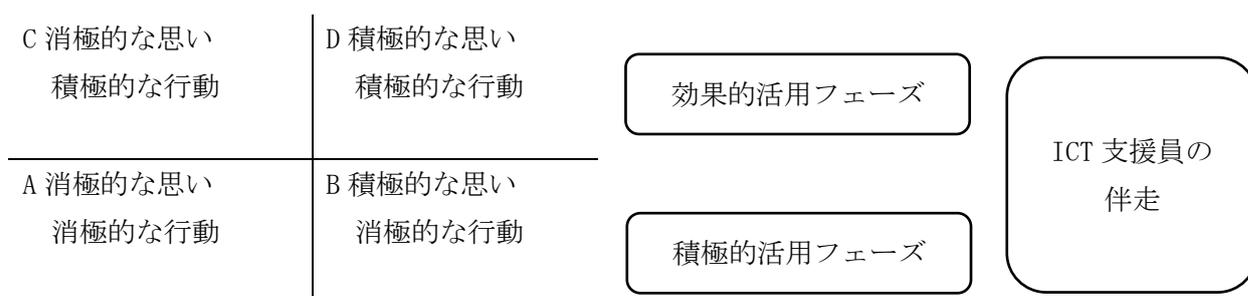
KPI 指標「話し合いを通じて、自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒」

・指標とした全国学力学習状況テストは、町全体の特徴より、その学年の特徴が色濃く反映されるため、年度によって上下動しやすい。町が独自に行なっている小5～中3までを対象としたアンケート数値の方が町全体の特徴を示すと考える。指標の見直しも検討する。

ICTに関連する内容（中間評価記載）

①活用頻度

学校、学年、教員によって活用頻度に差があることは事実。子どもも教員も積極的に使うことで、質は自ずと高まっていく。引き続き、積極的活用を進めていく中で、効果的活用を目指します。（積極的な活用の先に効果的な活用はある）



ご指摘の通り、「各校、各学年で活用が大きく進まない事象がないようサポートしていく」とする。

②講習会・事例共有

- ・使い方講習は各校がOJTで実施
- ・今年度より初任研でも使い方講習会を実施
- ・ICTを活用した好事例は、WG等を通じて共有
- ・今後は年間指導計画のクラウド化について研究し、環境構築をすすめる。

③ICT支援員の活用

- ・校務から授業支援の比重が高まっている。
- ・ICT支援員＝教職員の伴走者。ただし、指導者に授業や単元のビジョンやアイデアが必要。同一のICT支援員が5校を巡回するため、好事例は広がりやすい環境にある。
- ・ICT支援員の訪問頻度を高めるだけでなく、好事例を共有しやすくするための連携方法について工夫が必要。

ICT支援員と教員の協働的な授業づくりの一例

先生（課題→目標 全体指導）	ICT 支援員（解決方法の提示・サポート）
自分の音読をメタ認知させて、自己調整を図れるようにしたい。	アプリの紹介 T2 として授業サポート
国語「スイミー」の世界をプログラミングで創りたい。カリキュラム・マネジメントにより、目的意識の高い教育活動を計画。	ビスケツ指導支援 視覚的教材用意 T2 として授業支援
自分が撮った写真を使ってプレゼン資料をつくりたい。保護者会でも見せたい。	フォルダ管理の仕方の手順書を作成 視覚的教材用意 T2 として授業支援

二宮町不登校児童生徒数の推移

	小学校	中学校	5校全体
	人数(人)	人数(人)	人数(人)
平成30年度	8	19	27
令和元年度	15	21	36
令和2年度	19	32	51
令和3年度	18	37	55
令和4年度	32	54	86

問題行動等・不登校調査より

2—① 不登校対応（低学年）

（1）増加理由

- ①国の通知による不登校支援の方向性の変化
- ②保護者の学校教育に対する考え方の変化
- ③本人の状況（気力や気持ちや特性等）

→これらが複合的な理由となり、不登校になっている。（低学年に限らず全学年）

（2）現在の対策

①本人及び保護者支援

- ・選択肢を増やすこと

校外の機関との連携（教育支援室、フリースクール）

校内の居場所機能の充実

- ・SC、SSWの常駐など教育相談体制の強化
- ・アンケート等によるプッシュ型対応

→特に低学年は保護者との連携が重要。

②就学相談・幼保小連携

- ・保健センターと教育総務課の連携による就学相談（幼稚園訪問含む）
- ・幼保小の交流会や引継ぎの実施

（3）効果

- ・ほっとルームの効果的活用
- ・SC、SSWのアウトリーチ型の支援による学校復帰の事例

（4）今後の対策

①県への要望

- ・人的拡充

②町の支援

- ・他校への校内フリースペースの設置等について検討
- ・魅力ある授業づくり
- ・教職員の特別支援対応スキル
- ・保護者支援
- ・発達障害の児童を対象とした通級指導教室の新設

令和6年2月教育委員会議定例会予定

- 1 日 時 令和6年2月9日（金）9時30分から
- 2 場 所 町民センター 2Aクラブ室
- 3 付議事項
 - （1）令和5年度二宮町一般会計補正予算（第8号補正）（案）について
 - （2）令和6年度予算（案）について
- 4 報告・協議事項

※主な行事

2月 9日（金）	9時30分	2月教育委員会議定例会
3月26日（火）	9時30分	3月教育委員会議定例会
5月31日（金）	未定	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会 （茨城県古河市）